

實性寺 表千家茶道

2月稽古 令和八年

盆香合(運び)

濃茶

後炭

薄茶



盆香合



濃茶

〔掛物〕 節分画讃 長野埜志師

〔花入〕 紫交趾 鶴首 即全作

花 「水仙」 「猫柳」 「椿」 「梅」

〔香合〕 都どり 今戸焼

〔炭斗〕 油竹 利休好

〔釜〕 撫肩七宝紋 春斉作

戸縁 真塗 兼中斉宗匠 桐の絵 判箱

〔棚〕 長板 了々斎宗匠好青漆爪紅

〔水指〕 皆具 吉向作

〔茶入〕 信楽肩付 楽入作

仕服 弥左衛門間道

替 鶴水 半筒 即全作

」 尾戸焼 福寿草



花入



掛物

〔茶杓〕 東大寺二月堂修二会の竹

宗完宗匠銘「沢の井」

〔薄茶器〕 高台寺 即中斉宗匠判箱 一后一挑作

蓋置 一閑人 浄益作

〔菓子器〕 根来一文字食籠

〔干菓子器〕 沢栗 治兵衛作

菓子 「椿餅」「八声饅」「桜餅」 とらや製

干菓子 「せつだ梅」「しぼり豆」

濃茶 猶有齋好「楽寿の昔」 柳桜園

薄茶 猶有齋好「清友の白」 柳桜園



茶杓



薄茶器



蓋置



菓子器



干菓子器



釜



棚 水指



茶入



実相庵作



即全作



尾戸焼

長板のあつかい

一閑人蓋置のあつかい



蓋置